



山口大学大学院医学系研究科

5th Life Science Seminar in Yamaguchi

“修復医学と幹細胞生物学”

一般
公開

日時：2009年10月23日(金) 17:30-19:30

会場：医学部霜仁会館3階

I. 一般講演 座長：法医・生体侵襲解析医学分野 藤宮 龍也

17:30-17:50 肝臓の発生分化の制御から考えた診断と治療
消化器病態内科学分野（第1内科） 寺井 崇二

17:50-18:10 アルコール肝障害における骨髄細胞の動員及び分化・増殖
法医・生体侵襲解析医学分野 劉 金耀

18:10-18:30 マウス／ラット分離心筋梗塞モデルを用いた再生医学研究への応用
器官病態内科学分野（第2内科） 中村 浩士

II. 特別講演 座長：病理形態学分野 池田 崇二

18:30-19:30 再生と変性に大きな可能性を秘めた骨髄幹細胞

札幌医科大学 解剖学第2講座 藤宮 峯子

骨髄にある幹細胞は、傷害された臓器を修復する目的で種々の臓器に遊走し、特定の細胞に分化するか、まれに細胞融合のメカニズムで臓器再生に向かうことが知られている。しかし高血糖状態などで骨髄幹細胞に異常が生じると、組織修復に向かうべき細胞が逆に組織傷害性に働き、糖尿病性の臓器障害を引き起こすことが最近の研究で明らかになった。本講演では、骨髄幹細胞の善玉と悪玉両面の作用を紹介し、種々の疾患の治療戦略に迫る。

医療の基本は自然治癒力にあり、その修復・再生力を幹細胞生物学・病理学の視点から捉えることができるようになった。この修復・再生プロセスの異常という観点から、種々の病態解明の可能性を探り、本学の修復医学について考える一助としたいと企画しました。皆様のご参加をお待ちしております。

山口大学大学院医学系研究科 主催